
プタ子の生活！

松隈 藍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ブタ子の生活！

【Nコード】

N7285B

【作者名】

松隈 藍

【あらすじ】

ブタ子は、誰も友達がいらない。その時運命の人が……！果たしてブタ子は運命の人と、結ばれるのか？

入学式の巻

私はブタ子、中学１年生。この春入学する。私は、勉強が出来ない！だから、友達出来るかな。だからどうしよう…。

「ガタンガタン」教室が何だか騒がしい。教室に入って見ると、お坊ちゃまがいた！

みんなにお菓子を配っていた。私も欲しい、と心の中で思った。なので

「ちようだい」と言ってみた。

そしたら顔がイケメンだった。

すんなりくれた。その時私はドキツとした。お坊っちゃんまと仲良くなりたいたいと思った。

なので名前を聞いてみた。

そしたら

「僕ブタ夫」と言った。

名前が似ているから、良いかもしれないと思った。

先生が来た。次はいきなり体育だった。体操着を忘れた！どうしよう！と戸惑った。

その時ブタ夫君が貸してくれた。

「ありがとうございます」と言ったら

「お前可愛いなあ」と言ってくれた。とても嬉しくて嬉しくて、しようがなかった。

体育の授業では、跳び箱だった。私は６段までしか、跳べない。ブタ夫はなんと９段跳べた。なのでブタ夫に教えてもらった。とても嬉しかった。そのおかげで７段跳べるようになった。

２、３、４、５、６、７時間目が終わった。帰る時はとても寂しかった。家に帰ったらやっぱり、ケーキーっしかなかった。ケーキを食べながらブタ夫を思い浮かべた。

く嬉しい出来事くの巻

そしたら……！

ブタ夫

君が来た

(- -) /

えっ

？何で来たの？？と思った。そしたら

「お前1人だろ？」と言ってお菓子の詰め合わせをくれた！しかも、お坊っちゃまだから、フランスのお菓子をくれた！

とても嬉しくて涙を流したら、

「お前の泣き

顔可愛い」と言ってくれた！初めて可愛いと、言ってくれたく(ハ

- ハ)

そして、一緒にお菓子を食べたく！

く次の日く

なぜか、ベンツでお迎えに、来てくれた！ブタ夫が居る時間はとても楽しくてしょうがなかった！私は、ブタ夫しか、友達がいらない！なので、そのことを、ブタ夫に相談をした。そしたら

「お前馬鹿じゃねえの？そんなのお前可愛いから、すぐに友達が出来るよ！」と、言ってくれた(- - - *)

注意を見直しな

がら、あおいちゃんに、声を掛けて見た！

そしたら……！

「いいよ」ってしてくれた！！

そしたらブタ子は、

「私は、大熊 ブタ子です！」と言って初めて女の子の友達が出来たのです。これからは、あおいちゃんと、一緒に中学校に通いたいと思います。

「中間テスト」の巻

「次の日」

ブタ夫とあおいちゃんと学校に行く予定です」

「あっ！！」とブタ子は叫んだ。 あおいは

「どうしたの??」と心配そうに声を掛けた！

「今日中間テストじゃん！私復習してない。」と叫んだらみんなは、こちらを見て睨みつけてきた。

私は怖くて教室から逃げ出した。

その時

「ドーン！」

ブタ夫にぶつかった。

「あっ！ごめんね。」と謝ったら

「ゴメン！お前コーヒー掛かったぞ。保健室一緒に行くか??」と言われ、

一緒に行こうとしたが、

中間テストがあつたため先生に呼び出されて行けなくなった。

「はあ。一緒に行きたかったなあ。」と言われビックリ！でも、中間テストは絶対やらなきゃいけなかった（トホホ）

結局中間テストは、

124人中

100位に入らなかった。

（ブタ夫は98位）あおいちゃんは、

8位でした。やっぱり、塾に通っている人や、毎日コツコツ勉強をしている人は50位には、入っている。

「はあ。」

と何回もため息を吐く。といきなりブタ夫が来て

「ブタ子が50位に、入ったら一緒に食事に、行かない??」と言われ

「今度は頑張るぞ。」 と、強気を言いコツコツと勉強をしたのです。

そういえば、初めてブタ子と呼ばれたなあ。と思いつつ頑張る勉強をしたのです。

「果たして

結果は…!??」

あおいちゃん5位!!

ブタ夫は45位!

ブタ子は……

28位!!

余りの嬉しさに飛び跳ね

「ヤッター」と叫びブタ夫との、食事券を貰ったのです。

くブタ夫とトラブルの巻

「あー。明日何着て行こうかなあ。」と、一人でつぶやいた。
く次の日く

行こうとした時、アイロンをかけるのを忘れて、どうしよう!?!と戸惑いながら、

「もういいや!メールして1時間遅らせよう!」と、やけになって間違えて、

「2時間遅らせて」とうってしまったのです。

く1時間後く

「はあ。間に合った!」と言いながら

「あれく???まだこない。」と言ってました。

くその頃く

ブタ夫は、スーツを着て30分前になったら着くように、早めに行きました!

く10分後く

「もう。遅い!」と怒り気味で鼻を、赤くして待っていた。

「でも、早めに来たんだよ!」とブタ夫も怒り気味で言った!

「はあ?今10分も遅れてきたよねえ!」と怒って言った!

「はあ?。£ @ ¢ % # 」と変な言葉を連発してももの凄い喧嘩になって、結局帰れる事になっただけ!

「はあ。あんなケンカしなきゃ良かった。」と連発して、一番悲しい事は、お母さんに、ご飯要らないから〜!!と言ったから食べるのが無い!

「はあっ!」と、言いながら、

「ギョルギョル!」とお腹を空かせながら、あおいちゃんに、電話をかけた!

「プルプル」

「カチャ」

「あー?」

「イヤー!ちよつと取らないで〜!あつゴメンね!〜!」

「ウワーン!今ブタ夫に食事断られたの!食べに行つていい?...?」

「あつ!じゃあ今一緒に食べに行く?彼氏いてもいい?...?」

「うん!じゃあバイバーイ!」

ガツチャ!ピーピーピッ。

よし、はやくロイヤル〜〜に、行く〜うゝ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7285b/>

ブタ子の生活！

2010年10月21日13時56分発行